

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392700031
事業所名	グループホーム長寿の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	散歩時近所との挨拶を心掛けた結果、申し送りノートに「丁寧にあいさつしてくださり、職員さんがお年寄りに優しく声をかけているのが聞こえてよい施設だ」とのご近所の声が報告されていた。近隣の保育園・小学校とも交流があり、地域のお祭り・花見などには車いすの人も含めてほぼ全員出かけている。「地域に貢献できる取り組みをしたい」と管理者は考えている。	×
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	市介護課職員・地域包括センター職員・民生委員・入居者・家族をメンバーとして今年も6回の開催が確認された。毎回研修内容・行事の報告がされ、行事報告ではプロジェクトによる入居者が楽しむ様子が、家族にも「わかりやすい」と好評である。会議での発言がきっかけで社会福祉協議会のボランティアを申込み、いまでも訪問・活動してもらっている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	市へは、介護制度の確認・疑問、入居者の様子、待機状況の報告、などを担当者に相談・報告している。開設から三年経ち、職員に落ち着きも出てきて、定期的な連携を図りたいと管理者は考えている。	×
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	家族会はないが、家族は入居者とともに運営推進会議に参加している。ホーム便りも年3回の発行が確認された。開設時から季節行事として餅つきを行っているが、入居者にも好評で、いつも「お代わり」の声がある。誤嚥を防ぐために、職員は傍らで注視することを怠らない。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	-	-	○	-	×	

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。